

ガバナー月信



国際ロータリー第 2720 地区
2016-17 年度

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER | 2017.04 vol. 10

RI テーマ **人類に奉仕するロータリー** ジョン F. ジャーム RI 会長

地区スローガン **学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて**



国際ロータリー第 2720 地区
2016~17 年度 ガバナー **前田 眞実**

昨今、国際ロータリーが重要視していることはロータリー財団、会員増強、公共イメージの向上となっています。これは 2004 年に採択され、導入された CLP の組織編成で読み取ることができます。それまでクラブ奉仕の中の小委員会であった広報（現公共イメージ）と会員増強が常設委員会となり、常設委員会であった社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・新世代（現青少年奉仕）の各委員会が奉仕プロジェクト委員会として一つに括られました。

大半の人間は目的に沿った行動をとりますが、仕組みや強調事項次第では意図することに反する場合があります。組織編成もその一つで、様々な奉仕（日本では特に職業奉仕）を一括りにすると各々の取り組みが曖昧になりロータリーの本質である利他の精神を育む機会を見失う傾向になります。

組織を維持していくためには国際ロータリーが重要視している会員増強は不可欠であり、その手段の一つとして認知してもらうことはとても大切です。このことに異論はありません。しかしながら会員増強をしようと思うなら、まず、クラブの充足化を図らなければザルに水を入れることと同じで、会員が入会しても留まることはありません。よく、入会予定者の質を言う人がいますが、これは少し感覚が違って質を問うのは新会員にではなく、クラブに対して求めるべきであり、クラブの質が高くなれば自ずとクラブ会員の質も高くなります。クラブの質の向上こそが、ロータリーが未来永劫存続する大きな要因の一つです。充足化とは実はクラブの質の向上を指すのです。

それではクラブを充実させる（=質の向上）にはどうすればよいか。それはロータリーの原点に帰り、ロータリーの目的を意識させる仕組みにすることです（組織編成含む）。そして、各クラブが親睦と奉仕に対して真摯に取り組む、当たり前なことを当たり前に行う団体になれば会員増強、公共イメージの向上は自ずと解決するのではと考えます。商売と同じで、商品の質が悪ければいくら宣伝して買って頂いてもリピートはしません。逆に良い商品であれば宣伝しなくても口コミで広がっていきます。そのような仕組みになればと強く思います。

繰り返しますが、まずは本質を強調する仕組み作りが大切で、そのためには柔軟性や順応性が必要です。昨年の規定審議会において、クラブに柔軟性が与えられました。組織を繁栄させるためのものであれば柔軟性は大いに享受すべきです。皆さんはどう思われますか？

*地区大会では多くの会員の方にご登録を頂きありがとうございました。また、晩餐会の席では労いの言葉を掛けて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。会員の皆様、大分第 4 グループの皆様、そしてクラブの皆さんに心より御礼申し上げます。

今月の予定	4/1	大分第 2 グループ IM	4/16	職業奉仕セミナー
	4/8	米山奨学部門説明	4/22	宇土 RC30 周年
	4/9	永田年度地区研修・協議会	◇	ロータリーアクト留学生交流会（熊本）

2017 年 3 月 報告

- ◎3月4日
管理運営・広報合同セミナーが開催されました。
米山歓送会が熊本の奨学生を中心に行われました。
- ◎3月5日
米山歓送会が大分の奨学生を中心に行われました。
- ◎3月11日
大分第 3 グループの IM が行われました。
熊本第 7 グループの IM が行われました。
- ◎3月18日
大分中央ロータリーアクト加盟認定式が盛大に行われました。
管理運営・広報合同セミナーが大分に引き続き開催されました。
- ◎3月24日
地区大会 ゴルフコンペ・各種セミナー・懇親会が開催されました。
- ◎3月25日
地区大会 G 補佐、会長、幹事会議・本会議・RI 会長代理晩餐会が開催されました。
- ◎3月27~28日
会員基盤向上セミナーが開催されました。



▲3月4日 管理運営・広報合同セミナーの様子



▲3月4日 米山歓送会（熊本）の様子



▲3月5日 米山歓送会（大分）の様子



▲3月24~25日 地区大会の様子

寄付金のご協力感謝いたします。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



川口 公二
熊本平成 RC
(第 1 回)

ポール・ハリス・フェロー



吉永 博之
玉名 RC
(1 回目)

米山功労者マルチプル



三好 信行
白杵 RC
(第 4 回)

